



第35号

《目次》	頁
〈巻頭言〉	1
〈篠田牧師の思い出〉	2
〈小崎牧師の思い出〉	3
〈特集 南山に立つ「まきば」の歴史〉	4～5
〈まきばトピックス〉	6～7
〈編集後記〉	8



「キリストの愛を証しつつ立ち続ける」

愛知老人コミュニティーセンター
シルバーホーム「まきば」運営委員長 下村 徹嗣

「まきば」は、今年で24年目を迎えます。創業期には一時、経営・運営とも不安定な時期もありましたが、その後概ね順調に推移してまいりました。ただし、2018年度は若干の赤字を計上しました。幸い今年度は介護収入の落ち込みを回復すべく努めるなどにより、黒字になる見込みであり感謝しております。

「まきば」は、日本キリスト教団が所有する宗教法人の有料老人ホームです。それから導かれる運営の基本方針は、一つにはキリストの愛の精神に基づき、入居者も職員も共に神に愛されているかけがえのない存在として大切にしていくこと。もう一つは株式会社のように利益追求を目的とはしないものの、事業継続のためには黒字を保持していかなければならないこと。この二つをバランスよく両立させていくことです。

これから介護の激動時代を迎える中でも、安定した経営ができるように努めるとともに、「まきば」はキリストの愛を土台とする終の棲み家として、安全かつ安心して暮らせる施設を目指しています。さらに言えば、キリスト者であると否とを問わず、また入居者と職員の隔てもなく、お互いに分かち合い、支え合い、ゆるし合っていく一つの大きな神の愛の家族共同体を目指してまいりたいと願い、日々祈っております。

「まきば」がこのような施設を目指すうえで、他の有料老人ホームとは異なる特徴的な集いが二つあります。一つは毎金曜日に、近隣の教会の牧師をお迎えして礼拝形式の聖書の集いを行っていることです。月一回聖餐式もあり、私はこれを「シルバーホームまきば教会」と称しています。参加者はキリスト者がほとんどですが、若干求道者の方もおられます。

二つ目は「まきば」は終身介護を基本とする施設であり、天に召された方のうち本人またはそのご家族の希望により、ご家族や看護師などのケアで最期の看取りを行い、死後「まきば」の礼拝室でお別れ会を行っています。2018年には前運営委員長の篠田潔先生をはじめ6名の方が、いずれも神の御許に平安のうちに召され、5名の方が「まきば」の礼拝室でお別れの会を持って、天の国へと旅立っていきました。人の死とはいかに尊厳にして平安に満ちたものかを覚え、心が洗われる思いをいたしております。これらのことも含めて、「まきば」全体がキリストの愛に満たされたところとして立ちゆくようにと願っています。

さて、「まきば」は創設当初から隠退教師館設立の幻を持っていますが、今年オリンピックが終わるころから設立の可否をも含めて検討に入りたいと考えています。そのためもあって、「まきば通信」を今号から全国の隠退教師にお届けすることにいたしました。祈りに覚えていただければ幸いです。

「まきば」がこれまで順調に運営されてきたのは、「まきば」に関わってくださる多くの方々の祈りとお支えによるところ大であると、いつも感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



篠田 潔 隠退牧師の思い出

「篠田 潔牧師とまきば」

半田教会牧師 横山 良樹



▲右から 篠田潔牧師、秀子様、鈴木館長

篠田潔牧師は、神学校卒業後の1956年から42年間、愛知県知多半島にある半田教会に仕え、1998年3月、73歳で隠退をされました。教会内外で多方面に用いられ、地域住民からの信頼も厚い牧師でした。教会から名誉牧師の称号をおくられ、隠退後は教会から徒歩5分ほどのマンションに夫人と住まわれました。しかし「隠れ退いた」印象はなく、近隣教会の協力牧師や、説教応援、そして最後の大仕事としてシルバーホーム「まきば」の理事長を引き受けられ、鈴木卓也施設長とともに中部教区との信頼関係の構築、また経営安定に尽力されました。

老年期を迎えて、介護を必要とせず自由に体が動かせる期間を健康年齢というそうですが、まさに秀子夫人が体調をくずされ、入退院を繰り返すようになりました。老々介護の状態を見かねて、共倒れを案じた医師と鈴木施設長のはからいで、急遽、先生ご夫妻の「まきば」入居が決まりました。入居に際しては教会福祉金の援助を得ました。感謝なことでした。2010年9月のことです。

おそらく多くの牧師の悩みは隠退後の住居と本の始末だと思います。牧師館からマンションに移られる時も、すいぶんモノをあげたり、捨てたり

しましたが、「まきば」へ移られる時も、のべ40人の教会員が、毎日、体が不自由になった先生ご夫妻の引っ越しの手伝いに通いました。

9月19日に篠田名誉牧師夫妻を送る会をもち、ご夫妻は54年間を過ごした半田を離れ、日進市の「まきば」に移られました。車で約1時間半の道のりです。まきばには夫妻で暮らせる部屋も何室があります。しかし秀子夫人は介護が必要でしたので別棟に入居となりました。入居後も、篠田先生は職員礼拝での奨励や、絵手紙の指導をなさるなど多くの働きに仕えておられました。少しずつ体力が衰え、立ち居振る舞いが困難になってゆきましたが、信仰的楽道家でしたので置かれた場所で楽しむすべを知っておられました。最後のころは自分の老境を川柳のようなかたちで口述され、職員や家族、訪れる教会員を和ませて(?)いました。

「まきば」にはトランクルームが屋上にあり、そこにも荷物を収納しておられましたが、行きたびに部屋の中に積みあがってゆく本の山に、やっぱり牧師の部屋はこうなるなぁと苦笑したことを思い出します。8年間を過ごされ、本人の希望で入院先の病院から「まきば」に帰り、2018年6月28日、家族と職員に見守られて天に召されました。主が賞し与えられた地上の生涯は94年でした。



小崎 弘雄 隠退牧師の思い出

「神の愛を伝え続ける」

刈谷教会牧師 平井 克也



小崎弘雄先生は1926年12月5日、東京赤坂の牧師館でお生まれになりました。幼い頃からお体が弱く、小中学校とよく休まれていたそうです。本人曰く、過保護に育てられたからと言われていました。1945年3月、明治学院中学を卒業後、東京基督教神学専門学校

に入学されました。当時、上級生は学徒勤労動員で工場に徴用され、弘雄先生も8月15日より派遣が決まっていたましたが、敗戦により勤労動員は解除になりました。

1952年神学校卒業時、副牧師として岡崎教会の招聘を受け、3月末に就任されました。岡崎教会で、豊田、知立、刈谷、碧南などに各集會を持ち、主任の宮田熊治牧師と分担し、主日礼拝、夕礼拝、地域の集まりなど積極的に参加されました。

1953年、岡崎教会員である刈谷・碧南に在住の信徒が結束し、伝道所設立を決議し、主任担任牧師に小崎先生を招聘し、1954年4月1日に刈谷教会が設立しました。小崎先生はつねに刈谷教会が「キリストの体」としての教会形成をしてきたかを考え、教会は牧師中心のようであるが、牧師中心ではなく信徒中心であるのが本筋であり、そして牧師は信徒によって造られるものだとして述べておられました。刈谷教会の牧會に用いられると共に、中部教区活動委員、金城学院中学の聖書の授業を10年間担当され、また名古屋家庭裁判所岡崎支所の調停員として25年間務められました。また超教派による「十字ヶ丘」復活苑への奉仕、シルバーホーム「まきば」設立、運営にもかかわってこられました。

53年間、刈谷教会一筋で牧會され、そして隠退後、シルバーホーム「まきば」で生活されました。どの場でも神の愛を伝え続けられました。「まきば」で小崎先生を訪問した時、詩編23編のお話が心に残っています。

「あなたは『まきば』から何を連想されますか？聖書では『まきば』を背景とするイスラエルの民には、牧畜生活が多く、羊と牧者の親しい関係の例えがあり、『まきば』は主に愛され、羊は愛に包まれた大切な存在として記されています。『まきば』は神の支配する処、神の恵み、平安が豊かに備えられた処、小さな一人が大切に捉えられる処です。『まきば』が慰めであり、癒しであり、希望であり、喜びであり、人生の再生・プラス思考を与えられる処であります」と。

小崎先生は、霊南坂教会の時、岡崎・刈谷教会の牧會の時、そしてシルバーホーム「まきば」での暮らし、そして天に帰るまで、一人ひとりとの出会いを大切に、「まきば」のような場所をつくり、紹介し続けてくださいました。そして、神の愛を伝え続けられました。



▲刈谷教会での小崎牧師

特別企画

南山に立つ「まきば」の歴史

愛知県の名古屋市と豊田市の間に位置する日進市米野木町にある広大な観光牧場である愛知牧場の一角に福祉ゾーンとして愛知国際病院をはじめとする施設が、聖書の教えを土台とするキリスト教精神により建てられています。

その一つが日本基督教団のセンターである「愛知老人コミュニティセンター」が運営する介護付き有料老人ホーム「シルバーホーム『まきば』」(以下「まきば」と略す)であります。

約30年前に隠退牧師の終の棲家として計画された「まきば」でしたが、様々な事情により、介護付き有料老人ホームとしてスタートしました。隠退牧師の終の棲家である「隠退牧師館(仮称)」建築の実現に未だ至っていないのが現状であります。



年表

- 1997年 1月…愛知老人コミュニティセンター シルバーホーム「まきば」開設
- 2004年……施設長・館長交代
施設長・館長：鈴木 卓也
- 2006年……「介護専用棟(新館)」建設
- 2007年 3月…創立10周年感謝礼拝
- 2007年～2011年…『週刊ダイヤモンド』
有料老人ホームランキングにて愛知県1位
- 2012年……『週刊ダイヤモンド』
有料老人ホームランキングにて日本一に
- 2012年……センター明確化
「理事会」→「運営委員会」へ
- **本館大規模修繕**
- 2017年度……愛知老人コミュニティセンター宗教主事就任
宗教主事：小田部 正一
- 2017年 10月……運営委員長・施設長交代
運営委員長：下村 徹嗣
施設長：小田部 正一
- 2017年 12月…創立20周年記念
クリスマス礼拝
- **現在 2020年3月**
- 2022年 1月…創立25周年



これまでの歴史を振り返った時に、「隠退牧師館(仮称)」建築への動きがなかったわけではありません。「隠退牧師館(仮称)」建築を覚えて、中部教区を中心とした全国の諸教会・伝道所の皆様からの献金によって備えられてまいりましたが、二度程建築を見送る結果となったのが現状です。

2011年3月11日に東日本を大きな地震が襲いました。「東日本大震災」が発生し、それ以降、全国が震災復興へと集中する時となりました。

その後、再び機運が高まった頃には、オリンピック・パラリンピックの東京誘致が決まり、それに伴う建築費の高騰により再び見送る結果となって現在に至っています。

間もなく「まきば」は創立25周年を迎えようとしています。様々な環境が変化していく中でも、この南山の地に「立てられた」聖書の教えを土台とする近隣施設と共に主を証し、すべては主が備えてくださっている時があると信じつつ「隠退牧師館(仮称)」の実現に向けて歩んでいきたいと願っています。

これからも「まきば」の動きを覚え、ご加祷ください。

まきばトピックス

このページでは、日本基督教団愛知老人コミュニティセンターが運営する有料老人ホーム、シルバーホーム「まきば」でおこなわれた行事や近隣での出来事を紹介するコーナーです。

日進市健康・福祉フェスティバルに出展しました

11月に日進市が毎年行っている『福祉フェスティバル』の施設紹介のブースに「まきば」が初出展させていただきました。

さらに「まきば」を地域の人たちに知っていただき、ボランティアに来ていただくため何をしたらいいかなど職員が考え当日に臨みました。思いのほか大盛況となり「また来年もお願いします」と言っていました。



クリスマス礼拝・祝会

シルバーホーム「まきば」のクリスマス礼拝は、日本基督教団のセンターとして、教団より総会副議長の久世そらち（札幌北部教会）牧師をお招きし、共に礼拝の時を守り、「飼い葉桶」と題してメッセージをいただきました。

その後、入居者様方と祝会（お食事会）の時をもちました。

お食事は、例年日清医療食品（株）様のご協力により美味しくいただいておりますが、今年は、buffet形式ではなくコース料理を提供していただきました。



名古屋学院 名古屋中学・高校の生徒さんたちと

毎年クリスマスの時期になると、名古屋中学・高校のオーケストラ部や聖歌隊の生徒さんたちと一緒にクリスマス礼拝とコンサートの時を過ごしています。

今年も「まきば」を覚えて尋ねてくださり、参加されたお一人お一人にクリスマスカードを手渡し、声を掛けてくださいました。



教団新報に掲載されました



日本基督教団のセンターである愛知老人コミュニティセンターシルバーホーム「まきば」の伝道報告が、教団の機関紙である『教団新報』第4917・18号に掲載されました。

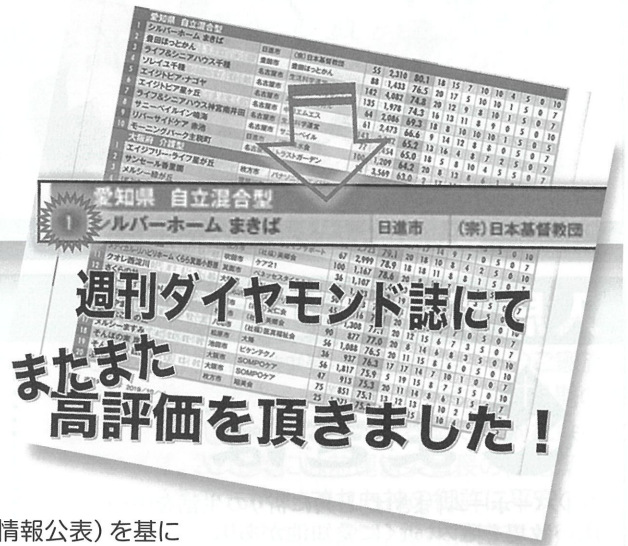
全国にある日本基督教団の教会・伝道所にセンターや「まきば」の動きを知っていただくよき機会が与えられ感謝しています。

週刊ダイヤモンド

「また、『まきば』が愛知県で1位でしたね」と、「まきば」のお客さんから聞き、慌てて『週刊ダイヤモンド』のバックナンバーを取り寄せました。

今回は『主要地域タイプ別ベスト1100 有料老人ホームランキング』という特集で、地域別にランキング表記されているものでした。

知らない間に2019年8月上旬のデータ（介護サービス情報公表）を基にランキングされていましたが、おかげさまで高い評価をいただきました。



キリストへの時間

この度、宗教主事を兼務する小田部施設長が、中部日本放送（CBCラジオ放送）毎週日曜朝6:30より放送されている「キリストへの時間」12月15日回と12月22日回を担当させていただきました。

愛知老人コミュニティセンター宗教主事としての働きと共に、「まきば」が神様のみ業を証しする器として用いられていることを心より感謝しています。



愛知国際病院音楽部のフルートとギターの演奏

協力病院で「まきば」の前の道路を挟んで真向かいにある愛知国際病院の音楽部の方々が、「まきば」で2度目の演奏会をしてくださいました。

今回は、手品も披露してくださり楽しい交わりの時となりました。いろんな面でご協力くださり感謝しています。



スタッフ募集

牧場の緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、
人格を大切に守る介護を実践してみませんか？
信仰生活の支援も大切な仕事の一つです。



看護職員(夜間)

週1日程度から。
曜日に限定がある方は相談に応じます。

【資格】看護師、准看護師

【勤務】18:00～翌8:00
(休憩4時間あり)

【手当】精勤手当あり



●交通費全額支給 ※詳細はお電話ください。0561-74-5548(担当：施設長)

入居予約受付中

見学や体験入居もできます(要予約)



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
silver home

まきば

シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…
真向かいに病院があり、牧場をはさんで教会もあります。

交通機関

名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から900m
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

類型及び表示事項

施設の類型／介護付有料老人ホーム(一部住宅型) 居室の権利形態／利用権方式
介護保険／愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
入居時の要件／60才以上で入居時自立及び要支援の方(要介護の方も、ご相談に応じます)
居室区分／個室及び二人部屋 介護にかかわる職員体制／2:1以上

キリスト教プログラム

「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」「讃美の集い」などの定例集会在
毎週施設内であり、自由に参加できます。
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会からバスが
迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究祈禱会」などにも
自由に出席することができます。



●お問い合わせ先 シルバーホーム「まきば」 TEL.0561-74-5548

編集後記

家を出て数十メートルほど行くと視界が開け、遥か向こうの小高い丘の上に3つの十字架が見えます。牧場の一画にある大きな十字架が1つ、すぐ横には納骨堂の十字架、視線を移せば、それより少し控えめな教会の十字架です。夏には教会の鐘の音に気付くこともあります。14年前この環境の中に引っ越して来て、神の国に近くなったようで嬉しかったものです。丘の上にある牧場まで登り、牛や馬を見て癒され、「まきば」のおしゃれな庭に咲く花に心を和ませるといふ、ウォーキングの楽しみもできました。

こうした近所に住むよしみで、「まきば通信」を作る一員に加えられたのでしょうか。自然に恵まれた「まきば」の方々の暮らしをお伝えしながら、皆様にも「まきば」の風を感じていただけたらと思います。(土屋)



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター

まきば通信 第35号 発行日 2020年3月10日

発行人 鈴木 卓也

〒470-0111 日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561

ホームページ <http://silverhome-makiba.jp>

E-mail info@silverhome-makiba.jp